

益田圏域プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成26年度)

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率			
			項目名	H26目標	H26実績	達成率
益田-1	西いわみ農産物の産地力強化プロジェクト	<p>【時代の変化に即応した生産体制の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田市において、遊休柿園(開発地)の意向調査を行い、結果の活用法を検討した。また、県事業を活用した柿部会での研修生受入や柿の収穫補完システムの試行など、柿園再生への仕組み作りを進めつつある。 	遊休財産の継承件数(件/年)	5	6	120%
		<p>【有利販売に向けた販売企画力の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の低温・寡日照により、トマトやぶどうは品質面の影響を受け、販売額が減少した。 ・ぶどうの「ぶちぶどう」ブランド、メロンの産地ツアーなどで、贈答販売の強化を実施し、販売額の向上につなげることができた。 ・津和野町では、まるごと津和野マルシェの強化等により、吉賀町では、加工セミナーによる人材育成で加工品開発等を行い、産直の推進を図った。 	主要品目の販売額(百万円)	1,300	1,151	89%
		<p>【持続的産地づくりに向けた担い手の育成・確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう部会青年部は贈答商品のマーケティングなど積極的な活動を行っている。 ・メロン栽培の高齢者サポート体制を運用し、栽培面積の維持を図った。 	産地を担う新規就農者の確保数(名/年)	3	11	366%
益田-2	伸びゆく石西地域の肉用牛プロジェクト	<p>【生産履歴情報の添付の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産定例会において、現況及び課題、対策を検討、方針を明確にして推進を実施した。このことにより、情報提供農家率は向上している。 	繁殖雌牛頭数(頭)	1,483	1,546	104%
		<p>【WCS用稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積は災害等により減少しているが、災害復旧後に備えてコントラクター組織の育成強化のため検討会を実施して仕組みづくりを協議した。津和野町においては、耕畜連携に向けた新たな体制づくりについて協議を開始した。 ・また、稲ソフトグレインサイレージ(稲SGS)を今年度、県内初の取り組みとして試行的に取り組みを開始した。 	WCS用稲栽培面積(ha)	34	30	89%
		<p>【堆肥流通対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・益田市堆肥センターにおいて、経営検討会が定期的に開催され、現状把握や今後の流通促進を検討している。 	(堆肥センター)堆肥供給量(t)	3,932	2,823	72%